

謹賀新年

理事長・所長あいさつ



社会福祉法人ゆうなの会
理事長 神谷幸枝

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には健やかに佳き新年をお迎えになられたことと心からお喜び申し上げます。

旧年中はゆうなの会の事業運営に多大なご支援ご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

ゆうなの会は昭和51年恩納村谷茶に特別養護老人ホーム谷茶の丘(100床)を開設、3年後の昭和54年に特別養護老人ホーム大名(70床)

を那覇市首里大名に開設、その後(100床)へ変更、平成18年には谷茶の丘の建て替え

を機に「谷茶の丘・雅みやび」へと名称も変わり、平成24年に高齢者複合福祉施設しきなガーデン(45床)を那覇市識名に開設、三つの施設を核として各種在宅福祉事業に取り組み大きな組織に発展することができました。

昨年は、谷茶の丘・雅みやびが創立40周年を記念して桜の木36本を植樹、創設者神谷幸夫の胸像の除幕式を行いました。

改訂に向けて法人理事・監

た。改めて創設者である神谷幸夫の「真」と云う一文字にこめられた福祉に対する思い、人に対する思いをみんな、語り合いわかち合い、意義深い40周年の記念事業となりました。40年と云う長い年月にわたり、ご支援ご協力を賜りました多くの皆様にご心から感謝を申し上げます。

さて、今年の干支はひのこ西です。何か一つの頂点に達し、転換期を迎える年と云われております。

昨年度は福祉業界に法人の経営組織の見直しや、地域社会に貢献する法人の在り方が示されました。「経営組織のガバナンス」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」等等であります。

我がゆうなの会も福祉法

事役職員が一丸となって取り組んでまいりました。法改正後も適正な運営を目指し利用者や地域社会から信頼される法人・施設を目指して運営をしていく決意でございます。

本年も皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに皆様方のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年のあいさつとさせていただきます。



特別養護老人ホーム
谷茶の丘・雅みやび
所長 玉城篤子

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては清々しいお気持ちで、新年をお迎えになられたことだと思えます。

昨年は谷茶の丘ができて40年の節目の1年でした。それを記念しまして、初代の神谷幸夫理事長の胸像の建立と、桜の木の記念植樹を行いました。

胸像は実物にそっくりに仕上がっており、そばを通ると少し緊張するのは私だけではないか、ぜひ皆様に見に来ていただきたいと思えます。

さて、西年の今年は何年と同じく、地域のために谷茶の丘ができる事は実践し続けることはもちろんの事ですが、原点に振り返りユニットケアを皆でもう一度勉強しなおす1年にしたいと思えます。他職種協働により今のケアを深く掘り下げて真の個別ケアを確立



特別養護老人ホーム
大名
所長 内間幸男

あけましておめでとうございます。

皆様には希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、老人ホーム大名及び識名ガーデンに格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

昨年は、平成27年度の厳しい介護保険法及び報酬改定があり、老人福祉施設を取り巻く経営環境は厳しい状態が続いており、どのように利用者やご家族に満足して頂ける高品質なサービスを提供していくかが大きな課題となりました。

大名ではサービスの質を維持・向上させる取り組みで施設サービス課では、認知症ケアで注目を集めているユマニチュードに関する勉強会を実施し、「見る」「触れる」「話かける」「立つ・歩く」を大切に

したケアに取り組み始めまし

た。識名ガーデンでは、法人の活動報告会で2事例の報告を行い専門性の向上に努めました。

また、職員が活躍した場として、大名地域交流ボーリング大会では2チームが参加し準優勝という好成績を残した他、NAHAMARONに11名もの職員が参加し「元気な老人ホーム大名」をアピールしました。

地域の皆様には「大名まつり」等の諸行事や、「地域防災訓練」、毎月の車椅子清掃等に沢山のボランティアで協力頂き感謝の気持ち一杯です。

今後、ご利用者の皆様、地域の皆様に安心・安全なサービスを提供し、信頼される施設運営に努めて参りますので、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。

最後になりましたが、2017年の西年が皆様にとって輝かしい一年になりますよう祈念して、新年のご挨拶といたします。